★夏　祭　り★

ケアハウスより
～納涼祭を終えて～

7月31日、夏祭りが行われました。
台風接近中の大雨の中の開催でしたが、それでもご招待の方をはじめ入居者、ご家族の方、ボランティアの皆様が多数ご参加下さり、とても盛大なお祭りになりました。
例年はケアハウスとグループホーム、2つの事業所だけの行事でしたが今年からは全事業所が参加し、職員総出で屋台あり演芸ありでおおいに盛り上がる事ができました。
入居者の皆様も、普段とは一味違う職員の姿を見てとても楽しんで下さいました。
来年は10周年という事でもあり、更に趣向を凝らしたものになるよう考えたいとおもいます。

台風なんて何のその！
近州音頭で吹き飛ばそう!!

さあ、みなさんもご一緒に！　歌って踊れる陽気なデイサービス職員

グループホームより

いつもより暑く感じるこの夏。その夏の行事、夏祭りにはたくさんの方のご参加、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。
昨年よりお店も増えましたが、皆様楽しんでいただけましたでしょうか?
この夏のグループホームは、七夕の笹に願い事を書いたり、たくさんの梅干を漬けたりしてすごしています。これが皆さんのお手元に届くころには、庭にはたくさんのきゅうりやオクラが、またおいしい梅干ができているはず?なのですが、どうでしょうか?
特に今年は季節の花を見に行くことがよくあります。
3年目ともなり、『あそこのハスはきれいだったよ』とか、『ひまわりを見に行こう』とか、今まで行ったきれいなところ、これから行きたいところ、どんどん増えてきています。ポスター担当の元書道の先生Aさんもますます腕を上げられて、皆さんの楽しみを倍増させてくださいます。
もしお時間があれば、ぜひご一緒にいかがでしょうか?
秋はやっぱり、おいしいものツアー、です!

納涼祭の
頼もしい助っ人さん

★実習生さんと★

そうそう、そこをそう折って…

ここは、こうやればいいのね！

甲西北中学校の実習生さん達が、
デイサービスルームに若さと元気!
を運んで来てくれました。

コラム　痴呆の対応

「痴呆症」について皆さんはどのようなイメージを持たれるでしょうか?「痴呆になったら人間おしまい」とか「痴呆の人は何も分からないからかえって幸せだ」という声を聞きます。本当でしょうか。これらは痴呆症に対する理解不足がうんだ大きな誤解です。「痴呆症」は健康な人の「物忘れ」とは違い、病気です。病気をお持ちのご本人が誰よりも大きな不安を抱え、苦しんでおられます。ご本人にとって不安やストレスの少ない環境の中にあれば、痴呆症があっても混乱なく穏やかに過ごすことができます。そのためには早期に専門医の診察を受けることが大切です。痴呆症と診断されても人間としての尊厳が保たれるならば、「その人らしい当たり前の生活が送れる」のです。

★職員紹介★

ほだいじデイサービスセンター
：芦田　泰俊

デイサービスの頼れる所長、芦田さんを紹介します。
笑顔の芦田さんは、デイサービスを明るく照らしてくれるムードメーカーです。
毎朝、京都から1時間もかけて通勤されています。雨の日も、風の日も野洲駅からバイクで通勤される姿は頼もしいものがあります。
アイデアマンで思いついたら即行動!!
どこからともなく、棚を持って来て観葉植物を飾ったり、天井に布を貼り、季節感あふれる演出をしてくれたりと、突拍子もない行動に驚かされる事も少々?（かなり）ありますが、利用者の方々が、リラックスした癒しの空間で過ごしていただけるようにと芦田所長の思いは、とどまる事はありません。。。
また、お子さんの成長を本当に楽しそうに話される、いいお父さんという一面も持っておられます。
元気いっぱい、笑顔いっぱいの頼れる所長、これからもよろしくお願いします。
<紹介者:デイサービスセンター　宮嶋宏明・内林恵子>

私達ケアマネージャーの業務を支えてくれている、クラークの奥野さんを紹介します。
ケアマネは利用者さんへの書類、事業所で保管する書類、また行政や他のサービス事業所に送る書類の作成など、書類を数種類作成することが日常の業務になっています。
それらの書類の作成・整理・管理を担当しておられるのが奥野さんです。
3児の母とは思えない若々しさ（!?）で、処理は的確かつスピーディー、期限付きの書類が滞っているなら、優しく書かれた督促状が各ケアマネの机に張られています。
そのおかげで、ケアマネも大きなご迷惑を利用者さんにかけることなく、毎月の業務を行えています。
これからもヨロシクお願いしますネ☆
<紹介者:居宅介護支援センター　所長　中原　江理>

ほだいじ居宅介護支援センター：奥野　恭子